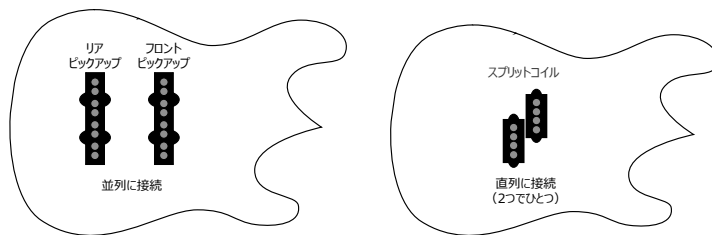




こーひーぶれいく



エレキベースの豆知識

松友 紀和

Matsutomo Norikazu

今年、残念ながら34年の長きにわたる活動を終了するアメリカのハードロックバンド「MR.BIG」。彼らに憧れて、僕がベースを始めたのは約30年前でした。よく「趣味はなんですか？」と聞かれると「音楽ですね。ベースやってます」と答えるのですが、大抵、「あ、あの4本のやつ」とか「ボンボンっていうやつ」とか「ギターとなにが違うんですか」といった返しがあります。そこで、いつどこで役に立つかも分からないベースの豆知識を1つ紹介したいと思います。

ベース（エレキベース）は大きく2系統に分類されます。ジャズベース（ジャズベ、J）タイプとプレジジョンベース（プレベ、P）タイプです。おそらく、ジャズベという名称を聞いたことがある方はいると思いますが、プレベについてはあまり聞きなじみがないと思います。このジャズベとプレベの違いはピックアップの構造と配置です。

ピックアップは弦の振動を電気に変える装置で、磁石にエナメル線等をぐるぐると巻きつけたものです。磁石とコイルの上で磁性体が動くと、コイルに電流が流れます。このときの弦の周波数の波と電流の波が連動する性質を利用しています。エレキベース（エレキギターもそうですが）は、このピックアップの構造や配置によって音色（トーン）が大きく変わってきます。

分かりやすくするために、ジャズベとプレベの図を示します。左がジャズベ、右がプレベになります。ジャズベは2つのピックアップが並列に繋がっています。フロントピックアップは太く甘めの音色、リアピックアップは硬くはっきりとした音色が特徴です。ジャズベはこの2つの独立したピックアッ



プからの信号を自由に調整（ミックス）できるため、多彩な音色を出すことができます。

一方、プレベはジャズベよりも小さいピックアップが2つ直列でつながっています。つまり、プレベは1つのピックアップを分割していると思ってください。そのため、ジャズベのように多彩な音色を出すためには、プレイヤーの技量が必要となりますが、ジャズベにはない独特の図太い音色を出すことができます。簡単に表現すると、音色の幅が広く、高音がシャキッとしたジャズベ、骨太な中低音だけど、どこか暖かいプレベといった感じです。

その他、プレベタイプとジャズベタイプを組み合わせたPJタイプや2つのコイルを逆相接続したハムバッカータイプ等ありますが、これ以上語ると連載になってしまうのでここまでにしておきたいと思います。

ベーシストには楽器にこだわりを持った方が多いような気がします。うかつに聞くと、うんちくの沼にはまるかもしれませんが、興味があれば聞いてみてください。ちなみに僕が使っているベースは、ピックアップがアクティブのJJタイプ、形状はJBタイプ、ボディ材はアッシュ、指板材はメイブルのロングスケールタイプです。

（杏林大学保健学部診療放射線技術学科）